資料２

令和７年度ワールド・カフェ実施概要（案）

１　目　的

本市では、平成31年３月第２次島田市生涯学習推進大綱を策定し、生涯学習の推進について周知活動を行ってきました。現在、市民の間では「生涯学習」という言葉がおおむね浸透してきています。令和８年度末に策定を予定している第３次大綱では、市民の方が自ら積極的に成長したい、向上したいという気持ちを持っていただくよう、学びの意欲を促すとともに、まだ学習活動を実践していない方へは生涯学習の魅力を発信していきたいと考えています。今回のワールドカフェでは生涯学習の魅力を伝えるにはどうしたらよいかについて、考察を深めたいと思います。

２　主　催　　島田市教育委員会（社会教育課）

３　日　時　　令和７年11月22日（土）14:00～16:00（予定）

４　会　場　　プラザおおるり３階第３多目的室（島田市中央町５－１）

５　講師兼ファシリテーター

常葉大学教育学部生涯学習学科　　猿田真嗣　教授

６　参加者　(1) 常葉大学教育学部生涯学習学科学生６人

(2) 島田市生涯学習推進協議会委員９人

７　事務局　島田市教育部社会教育課

８　テーマ　テーマ１　あなたにとって生涯学習の魅力とは何か。

テーマ２　生涯学習の魅力を伝えるにはどうしたらいいか。

９　テーマ詳細

テーマ１．あなたにとって生涯学習の魅力とは何か。

人生100年時代と言われ、誰もが人生を充実したものにしたいと感じていると思います。生涯学習そのものの魅力または実践することによって得られる魅力について、意見を出し合いたいと思います。

テーマ２．生涯学習の魅力を伝えるにはどうしたらいいか。

まだ、生涯学習を実践していない人を実践へと後押しすることができるよう、生涯学習の魅力を伝えるにはどうしたらいいか、伝える方法に重点を置いて、意見を出し合いたいと思います。

10　当日の進め方

生涯学習推進委員と常葉大学生涯学習学科学生を３つのグループに分け､第１ラウンド、から第４ラウンドまで行う。１グループあたり５人程度とする。

第１ラウンド

「あなたにとって生涯学習の魅力とは何か」というテーマについて20分間オープンに話し合います。会話をしながら、キーワードなどをポストイットに自由に書いて模造紙に貼り付けます。模造紙は、その後のラウンドで新しくテーブルに移動してきたメンバーに、各テーブルでどんな話し合いがなされたかを説明するためや、メンバーのアイデアをつなぎあわせていくために使用します。

第２ラウンド

グループごとに１名のテーブル・ホストが残り、他のメンバーは旅人として別の場所に自由に移動します。テーブル・ホストは、旅人に自分のグループでの対話内容について簡単に説明します。旅人も、自分のグループで出たアイデアを紹介し、第１ラウンドと同じテーマについてさらに20分間話し合いを続けます。

第３ラウンド

テーブル･ホストは残り（テーブル・ホストは最後まで最初と同じ場所にいます)、旅人は再び別の場所に移動します。

２番目のテーマ「生涯学習の魅力をわかりやすく伝える方法とは何か」について 20 分間自由に話し合います。

第４ラウンド

最初のグループに旅人は戻ります。テーブル・ホストは、それまでにその場所で出た話を紹介し、旅人は旅先で得たアイデアなどを紹介しながら、気付きや発見を統合し、つながりを探求します。

全体セッション

全体セッションでは数名の参加者から、ワールドカフェで得た気付きや思いなどを紹介します。最後に猿田教授から参加された印象など、コメントをいただきます。

アンケート記入

ワールドカフェの感想、印象に残った言葉や自分自身にとってキーワードとなってきた言葉などを自由に記載します。

11　意見の出し方・発表方法

アイデアをポストイットに書き、多くの意見を出し合います。模造紙に、出された意見のポストイットを張り付け、ポスカ等で意見を集約していきます。全体セッションで、模造紙をホワイトボードに掲示し、各テーブルの話し合いの内容を紹介します。

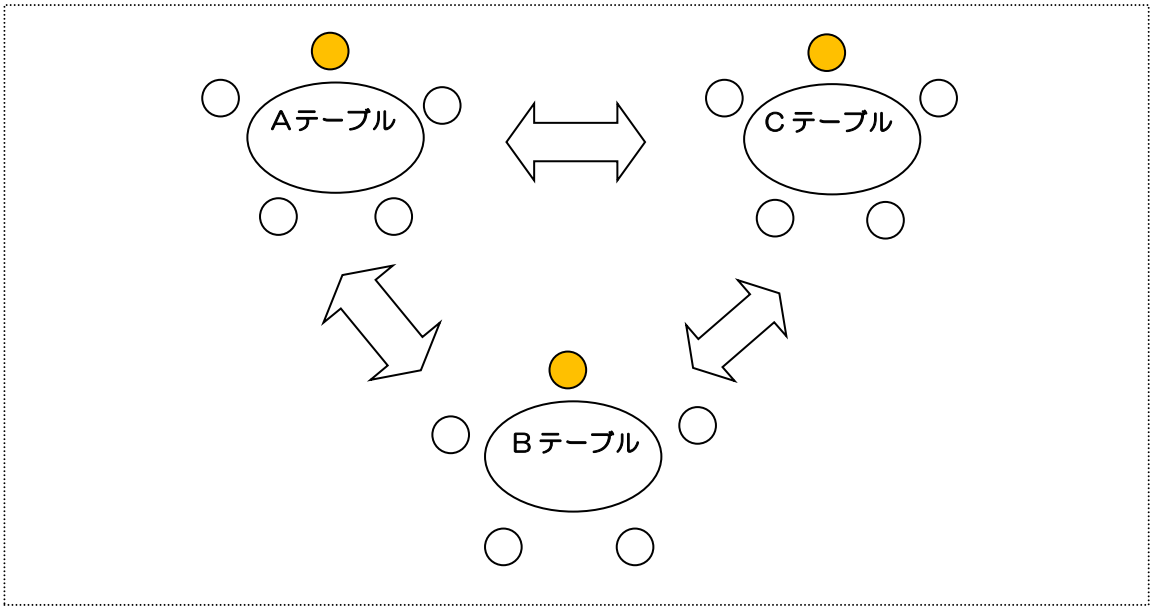
12　タイムスケジュール

未定

13　グループ分け（案）

Aテーブル	Bテーブル	Cテーブル
委員１（ﾃｰﾌﾞﾙﾎｽﾄ）	委員４（ﾃｰﾌﾞﾙﾎｽﾄ）	委員７（ﾃｰﾌﾞﾙﾎｽﾄ）
委員２	委員５	委員８
委員３	委員６	委員９
学生①	学生③	学生⑤
学生②	学生④	学生⑥

14　テーブルレイアウト・移動順序

●: テーブル・ホスト（生涯学習推進委員）

◯のメンバーが入れ替わる